

2026年度入学試験（2月）
大学院デザイン工学研究科

建築学専攻 修士課程
総合2年コース
作品評価型

入学試験問題

[即日設計]

2026年2月18日（水）
13:30～18:30

<解答要領>

1. この問題用紙・敷地図のほかに、計算用紙（A4版）1枚、トレーシングペーパー（A2版）2枚を配付する。
2. トレーシングペーパーには2枚とも、受験番号・氏名を記入すること。また、表紙右下に受験番号・氏名を記入すること。
3. トレーシングペーパー2枚のうち、1枚は提出図面製作用、1枚はエスキース用とする。（エスキース用は用紙右上に、エスキース用と明記すること）
4. 筆記用具のほか定規・製図板・方眼紙・電卓・メンディングテープ・色鉛筆は使用可。テンプレートは、正円・正方形は可、だ円や家具などは不可。
5. 問題、トレーシングペーパー2枚を提出すること。

受験番号	
氏名	

課題：3の家

現在の日本は、家族形態や住まい方も一様ではなく、住宅として設計されたものが家として使われ続けるかもわからない時代と言える。それなのに、均質なタワーマンションの建設は進み、同時に空き家も増えているといったアンバランスな状況が起きている。

これから街並みや住宅地というものはどう変わっていくのでしょうか。

今回は1つの街区を設定し、3軒の家を設計してください。単に同じ住宅を3つ作るのではなく、それらが相互に関わるような暮らしや住まい手を想定し、表現してください。3という数字を活かしてください。住宅の設計だけでなく、その隙間、敷地形状に対する関係なども考慮し、これからの街の起点になるような街区を提案してください。

設計条件について

- ・ 住まい手を設定し、それをわかるようにする。
- ・ 魅力的な空間構成、構法、ディテール、素材の使い方、暮らし方、仕組み等を提案する。
- ・ 各建物の延床は約100~200㎡とする。(敷地面積は提案に合わせて各自の設定とする。)
- ・ 敷地の形状や接道、周辺環境などは各自の設定とする。
- ・ 時間経過後に暮らしや家がどうなっていくか表現する。

解答について

- ・ 設計意図を示す作品タイトルおよび設計趣旨(150字程度)を記載すること。
- ・ 要求図面の指定はないが、配置図、平面図、断面図は必ず描くこと。さらに、部分詳細図、パース、ダイアグラムなどを適宜加え、魅力的な状況を伝えること。それぞれの図面の縮尺は各自が選択し、表現すること。
- ・ 図面の着色は自由とする。

出題意図について

即日設計という限られた時間内において単に住宅の機能的な間取りを収めていくのではなく、これからの時代に必要な住宅とはそもそも何か、といったことに対する積極的な暮らしの提案をみる。さらに、自ら考えた暮らしの提案に合わせた住宅の設計になっているかどうか、そして共通した住宅を単に並べるだけでなく相互に関わる工夫が考えられているかどうかをみる。複雑な関係を各自が、必要な図面・縮尺の設定・パースの構図・ダイアグラムなどに置き換え、限られた紙面に収めていく必要がある。情報の整理・構築力や、それらを人に魅力的に伝えるレイアウトシートの表現力をみる。